

高津支部長 中村研二 (S44年卒)

高津区は人口約21万人で年々増え続けています。細長い川崎市の地形のほぼ中央に位置し、多摩丘陵の緑と多摩川の水辺など豊かな自然に恵まれた町です。

高津区を横断する古道として大山街道があります。江戸時代に庶民のブームとなった「大山詣り」の宿場町として発展し、その後は江戸に物資を運ぶ大切な輸送路として栄えました。そして人々の交流を通して、商業が栄えるとともに早くから文化が芽生え、数多くの文化人を生み出してきました。歌人・岡本かの子や陶芸家で人間国宝の濱田庄司の生誕地と知られ、芸術家・岡本太郎ゆかりの地でもあります。過日、大山街道歴史散歩をしてきましたが、街道沿いのそこかしこに大山街道の様子を伺わせる神社、お寺、道標、蔵、史跡、お店などを見付け昔の大山街道に思いを馳せました。

また、高津区中央付近に子母塚貝塚があり、かつてこの付近が海岸線であることを示してくれます。その他、高度先端企業や研究機関が集積している「かながわサイエンスパーク(KSP)」や川崎市における教育の充実および振興を図ることを目的とする「川崎市総合教育センター」もあり、川崎市の教員の研究・研修機関の拠点となっています。

高津支部には現在、小学校15校、中学校5校、高校1校、特別支援1校、県立養護1校、教育センターなどの会員が所属しています。現職会員57名、OB会員41名の計98名で構成されています。

支部では年1回、支部総会を開催しています。例年8月下旬に溝ノ口駅近くを会場として、毎回十数名が参加しています。総会では支部活動・会計報告とその年度の活動・会計計画などが話し合われています。その後の懇親会では各会員の現況報告なども行われ、お互いの交流を図り楽しいひとときを過ごしています。

総会の参加状況を見ますとOBの方々の参加が年々減少する一方、現職の会員の参加が増えており、時折り参加するOBの方が総会の雰囲気以前と比べて若やいでいるのを見て驚いておりましたがやはり、OBの方々にももっと参加して頂き、いろいろご指導頂けたらもっと内容のある支部総会になるのではと期待しています。

本支部の課題は会費納入人数が年々減少していることです。いろいろ対策を検討しておりますが支部に対する所属感、愛着感など横のつながりが希薄であることが考えられます。そういったお互いの心のつながりが確かな基盤になれば自ずと会費納入の人数が増えてくるのではないかと思います。そのためには支部執行部がそれらを実現するための方策を他の支部からも知恵を借りながら工夫する必要が迫られています。

今は多くの会員から快く笑顔で自分から積極的に会費を納入されることを夢見しております。